

【KAiGO PRIDEのインタビューに答える外国人材】



THE JAPAN NEWS 掲載記事

KAiGO GLOBAL WATCHING

世界のKAiGOトピックを紹介

外国人材から見た 日本の介護の魅力とは？

このコーナーでは、世界各地の介護にまつわるトピックを紹介していきます。今回ご紹介するのは「THE JAPAN NEWS」から「**タイをはじめアジア諸国からも注目を集める日本の介護サービス**」というタイトルの記事です。

厚生労働省は3月22日の検討会で、外国人材に対する条件を緩和し技能実習や特定技能のサービスに従事することを認める案を示しました。会話経験が少ない外国人材は訪問介護に従事することはできませんでしたが、改めて見直されます。現在の少子高齢化の問題は日本だけではなく、世界各国で深刻化していて、近い将来各国で介護人材の取り合いとなることが予想されます。その中で改めて日本の介護の魅力がわかる記事となっています。

“I think Japanese services cater to the needs of local residents,” Nakphu said. “I hope we can incorporate the best parts of Japanese care services into our operations in Thailand.”

出典元：「THE JAPAN NEWS」<https://japannews.yomuri.co.jp/society/general-news/20240208-167521/>

（「日本のサービスは地元住民のニーズに添えていると思います」とナクプー氏は語った。「日本の介護サービスの良い部分をタイの事業に取り入れていきたいらと思っています。」）直訳

日本の介護の魅力は各国の外国人材の方も口にしていきますが、それを知る機会が極端に少ないため、外国人材目線での介護の魅力発信にも我々は力を入れています。今年の2月に開催されたKAiGO PRIDE WEEK 2024では、日本で働いている外国人材目線での日本の介護についての話から、外国人材を管理している管理者まで幅広く話を伺う場を設けました。立場や生い立ち、国籍などでも感じ方が違う介護の魅力。この様子のレポートをnoteに掲載していますので、是非この機会にチェックしてください。

【アンバサダーイベントで魅力を語る馬場田氏】



介護施設AWARDプレスリリース
掲載記事

「第7回介護施設AWARD2023」 KAiGO PRiDE アンバサダーが 全国2位を受賞！

一般社団法人KAiGO PRiDE（所在地：東京都渋谷区。代表理事：マンジヨット・ベディ）が昨年本格始動させているKAiGO PRiDEアンバサダー。メンバーとして活動している馬場田さんの経営する施設、山形県新庄市ケアホームカナンが、「第7回介護施設AWARD2023」にて2位を受賞しました。介護施設AWARDとは、介護施設経営コンサルティング事業等を行っている合同会社4Uが主催となって運営している介護施設向けのコンテストで、参加介護施設は全国から延べ1000施設。「あなたが取り組み内容を見学したい施設とは？」が今年の受賞テーマとなり、このテーマに対して対象の施設を投票していくコンテスト内容となっています。

ケアホームカナンは音楽と運動を融合させた介護予防プログラム「音楽健康セッション」を展開しており、馬場田さんも自身のDJの経験を活かし音楽を取り入れた「次世代型介護予防体操」も行い各種SNSや講演等にも活躍の場を広げています。KAiGO PRiDEアンバサダーの活動の中でも「若い世代に介護はもっと自由であるということ。新しい介護の魅力を伝えていきたい。」と、口にしています。

当法人は現役の介護職の生の言葉を発信することに重きをおいて活動して参りましたが、このように新しい介護の魅力を発信する力を持った現役の介護職の方の活動の場を広げていくことも、我々の使命だと改めて感じました。こういった活動の報告が大変嬉しく感じると共に、引き続き我々も新たな介護の魅力を日々模索しながら発信を続けて参ります。